

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名					
柔道整復実技17					
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名	実務経験	
柔道整復学科・夜間部	3年	3・4期	山中 直樹	○	
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数
専門分野	柔道整復実技		実技	1	20
科目概要					
柔道整復師の施術所で多く見受けられる上肢・下肢の軟部組織損傷を取り上げ、対応すべき鑑別技術を習得できるように授業を展開する。基本的な観察法を確認した上で、応用的な見方にも一部触れていく。なお、各種手技を習得するためには多くの身体的な特徴を観察すべきであるため、学生間で共に学習できるような方法を提案し展開していく。					
目標					
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	柔道整復師として、軟部組織損傷疾患の正しい鑑別診断ができるようになるために、問診、視診、触診、各種の鑑別手法を習得するとともに、その習得に必要な態度を身につける。				
到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格率)</small>	1. 様々な軟部組織損傷に対する鑑別診断をするための検査ができるようになる。 2. 様々な軟部組織損傷の鑑別に必要な問診、視診、触診ができるようになる。 3. 様々な軟部組織損傷の鑑別力を習得する際に必要な態度を身に着けられる。				
履修に必要な予備知識や技能					

各種骨の名称、関節の名称、骨格筋の名称等を予備知識として覚えておくようにすること。

教科書・参考書
教科書:配布資料を中心に講義を実施するが、参考資料として 『柔道整復学・理論編 第6版』(公社)全国柔道整復学校協会(南江堂) 『柔道整復学・実技編』(公社)全国柔道整復学校協会(南江堂)を使用する。

受講上の注意
講義中に携帯端末による検索は行わないこと。指輪・ネックレス・イヤリングなど実習の際に、妨げになる可能性のあるものは身につけないこと。手指の爪は、切り整えてから参加すること。

成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)				100			100
	実技試験実施要項						

回数	授業内容	教科書	教材・持ち物
第1回	膝関節靭帯損傷の鑑別診断①	配布資料	白衣、サンダル、筆記用具
第2回	膝関節靭帯損傷の鑑別診断②	配布資料	白衣、サンダル、筆記用具
第3回	確認演習	配布資料	白衣、サンダル、筆記用具
第4回	足関節靭帯損傷の鑑別診断①	配布資料	白衣、サンダル、筆記用具
第5回	足関節靭帯損傷の鑑別診断②	配布資料	白衣、サンダル、筆記用具
第6回	確認演習	配布資料	白衣、サンダル、筆記用具
第7回	肩関節・肘関節靭帯・腱損傷の鑑別診断①	配布資料	白衣、サンダル、筆記用具
第8回	肩関節・肘関節靭帯・腱損傷の鑑別診断②	配布資料	白衣、サンダル、筆記用具
第9回	大腿部損傷の鑑別診断①	配布資料	白衣、サンダル、筆記用具
第10回	大腿部損傷の鑑別診断②	配布資料	白衣、サンダル、筆記用具
第11回	確認演習	配布資料	白衣、サンダル、筆記用具
第12回	膝関節損傷の鑑別診断①	配布資料	白衣、サンダル、筆記用具
第13回	膝関節損傷の鑑別診断②	配布資料	白衣、サンダル、筆記用具
第14回	確認演習	配布資料	白衣、サンダル、筆記用具
第15回	下腿部・足関節損傷の鑑別診断①	配布資料	白衣、サンダル、筆記用具
第16回	下腿部・足関節損傷の鑑別診断②	配布資料	白衣、サンダル、筆記用具
第17回	確認演習	配布資料	白衣、サンダル、筆記用具
第18回	試験	配布資料	白衣、サンダル、筆記用具
第19回	試験	配布資料	白衣、サンダル、筆記用具
第20回	解説・復習	配布資料	白衣、サンダル、筆記用具

実務経験と本講義との関連について

*柔道整復師として接骨院に8年間勤務。
 また、鍼灸院を開業して12年の訪問診療等における実務経験をもとに、臨床現場で応用できる「柔道整復実技17」の講義を行う

メールアドレス
yamanaka@nihonisen.ac.jp